SHOWA GAKUIN

昭和学院 広報
第21号
2016.3.5（土）

昭和学院中学校・高等学校
〒272-0823 市川市東菅野2-17-1　TEL 047-323-4171-5
http//www:showa-gkn.ed.jp/js　FAX 047-326-5310

高2 沖縄校外教育 ～自然・平和・文化・歴史～

▲カヌー体験

今年で6回目を迎える高校2年の沖縄校外教育が2月に実施された。今回の校外教育の目的は、生徒が主体となっての沖縄の歴史、文化、自然に触れ、自主性や責任感を育むこと、平和についての考えを深め、戦争の記憶を風化させることがないようにすることであった。参加者は、生徒が344名，引率教員，辻田副校長先生を団長に，学級担任を中心とした16名，それにＪＴＢの添乗員が6名，カメラマンが2名総勢368名であった。行程は2月8日（月）から1班が、2月9日（火）から2班が、それぞれ3泊4日の日程で行われた。

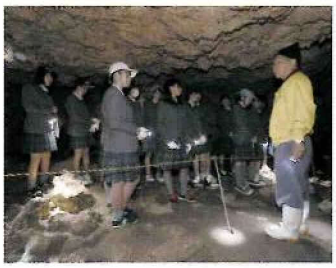
第１日目

▲ホエールウォッチング

1日目、7時20分に羽田空港第2ターミナルに集合。一部時間に間に合わない生徒もいたが，当日の欠席者もなく8時40分発のＡＮＡ467便で一路那覇空港へと向かった。機内では生徒たちも非常にリラックスした様子で，楽しげに友人たちと語らい，これから始まる3泊4日の旅行に，期待で胸をふくらませている様子が伝わってきた。到着して最初に訪れた場所は、沖縄の大自然を堪能するホエールウォッチングである。毎年12月から4月にかけて、クジラたちが子育てのため沖縄ケラマの海にやってくる。大海原で繰り広げられる、尾びれを高く上げるテイルスラップ、「潮吹き」ブローなどのクジラたちのダイナミックかつ神秘的なパフォーマンスは、生徒たちにかつてない感動を与えてくれた。その後、ホテル日航那覇グランドキャッスルに到着。夕食後、「平和講話」が行われた。空襲の激しさ、「鉄の暴風」と表現される艦砲射撃の凄まじさ、実体験をもって語られる戦争の衝撃的なお話に、熱心に耳を傾けていた。

沖縄校外教育

第２日目



▲ 山城本部壕（ガマ）にて

２日目、摩文仁の丘、ひめゆりの塔、ひめゆり平和祈念資料館、ガマなどの見学を通しての平和学習となった。昨夜の貴重なお話と相まって多くのことを考えさせる１日であった。ガマでは、照明がない漆黒の闇の中で、ガイドさんの話に耳を傾け、当時の人々が体験したであろう恐怖を肌で感じ、戦争の悲惨さだけでなく、命の大切さも体感できた。ひめゆり平和祈念資料館では、沖縄県民の４分の１が犠牲となった沖縄戦の悲惨さを展示資料などを通して学び、戦争の不条理と残酷さをあらためて感じとった。また、祈念資料館では各班で準備した千羽鶴を手向け、１分間の黙祷を捧げた。２日目の宿泊施設はリザンシーパークホテル谷茶ベイである。沖縄海岸国定公園に位置した贅沢なロケーション、オーシャンビューを望める最高の立地条件に、生徒たちも大いに興奮していた。

第３日目

３日目、東村でシーカヤック体験およびプロジェクトアドベンチャー（ＰＡ）が行われた。インストラクターからレクチャーを受けた後、２人１組で舟に乗り込み沖縄の珊瑚礁の砂浜から海へと漕ぎだした。しかし、なかなか前に進むことが出来ずに初めのうちはため息混じりの歓声が響いていたが、徐々に上達し腕をあげた生徒たちは、水しぶきをあげ、ずぶ濡れになりながらも楽しい時間を過ごしていた。ＰＡは冒険教育ともいわれ、心理学や体験学習の手法を取り入れた、参加者の自主性や協調性を養う野外活動である。キャッチ、サークル・トゥ・サークル、エンゼリングなどの活動を通して、仲間との信頼関係を築いたり、今まで知らなかった自分を探すことに取り組んでいた。その後、昼食をとり海洋博公園へと向かった。美ら海水族館では、太陽の光が降りそそぐ「サンゴの海」水槽、世界最大の魚ジンベエザメや、世界初の繁殖に成功したナンヨウマンタが観察できる大迫力の巨大水槽「黒潮の海」、さらに謎に包まれた沖縄の深海を再現した「深層の海」水槽など神秘に満ちた沖縄の生き物たちが繰り広げる雄大な世界に感嘆の声が上がっていた。

▲ 美ら海水族館

第４日目

４日目、いよいよ最終日である。ホテルを後にして、首里城へ向かう。首里城は琉球の島々を治め、中国、日本、朝鮮、東南アジアの国々と外交、貿易を展開した琉球王国の王府で、華麗な王朝文化に彩られた空間である。その朱塗りの華麗にして気品あふれた建物群に生徒も目を見張っていた。その後、国際通りへ移動し、約２時間半の班別自主研修となった。ショッピングを楽しんだり、沖縄料理に舌鼓を打ったりと、沖縄校外教育最後の行程を思い思いに楽しんでいた。４日間の行程もすべて終了。那覇空港を後にし、羽田空港へと向かった。多くの思い出をつくることができた機中の生徒の表情は、疲れきった中にも満足感にあふれるものであった。また、宿泊を通して深めあった友情は今後の彼らの大きな財産となるであろう。最後になるが、無事に校外教育を終えることが出来たのも、学年の先生方をはじめとした多くのスタッフの協力のおかげである。あらためて感謝を申し上げたい。

▲ 国際通り

百人一首大会

▲ 見つけた！

第12回中学校百人一首大会が２月12日（金）６時間目にメインアリーナにて開催された。この日までに１枚でも多く覚えようと努力した生徒も多く、「憂かりける～」「ちはやぶる～」と読み上げられた途端、どのグループからも札を取る音が響き、大変盛り上がった楽しい会となった。優勝のクラスには賞状と賞品、個人賞の生徒には賞品が渡された。結果は、次のようになった。

優　勝
1年1組、2年1組、3年1組

準優勝
1年3組、2年2組、3年3組

第3位
1年2組、2年3組、3年2組

《個人賞》

《最優秀賞》
1－1　五十嵐えり
1－1　橋本　和

《優秀賞》
1－1　古牧　悠
1－2　砂川ゆめの
2－1　山口　美咲

《優良賞》
1-4 新野真莉子　3-1 田中　杏奈
1-2 本地　志穂　3-1 蓑島　里沙
2-1 藍　ことね　3-1 稲場　晴香
2-1 秋元　美空　3-1 久保かつき
2-1 岩崎　雄亮　3-1 原　一真
2-1 槙原　空　3-2 沖田　楓香
2-1 ダリング杏那　3-3 田中弥真登
2-1 平野そよ風　3-3 横山　瑞季

書き初め展

今年の千葉県小中高校書き初め展の課題は、中１「故郷の空」・中２「白銀の世界」・中３「希望を達成」・高校生「春日鳥還飛」だ。地区審査の結果、高１・斎藤玲奈さん、中３・湯澤真季さんの2名が市川地区代表として選ばれ、1月24日（日）千葉県総合スポーツセンター体育館で行われた中央席書会に臨んだ。その結果、中３・湯澤真季さんが特別賞「書星会長賞」に輝いた。また、校内書き初め展（1月29日～30日）では書星会賞と特選の作品を展示し、その中から校長賞として、高１・塚本あかりさん、中２・金田優芽さんの作品が選ばれた。中学１年生は基本に忠実に、上級生になるとさらに表現の幅が広がり、高校生では文字の多彩な書体・書風を用いるなど各学年の特徴が表れ、全体的に元気のある作品が目立った。

▲ 校内書き初め展

▲ 地区代表の湯澤さんと斎藤さん

SHOWA GAKUIN

世界へ羽ばたく昭和学院

新体操　Fairy Japan ……横田　葵子（高3）

▲ 初の種目別・銅メダル（右から2番目・横田）

高校３年横田葵子（きこ）さんは、フェアリージャパン（Fairy Japan）：新体操団体競技の日本ナショナル選抜団体チームの一員です。昨年9月にドイツで行われた世界新体操選手権にて、団体総合5位の快挙を成し遂げ、日本は五輪出場権を獲得しました。また、団体種目別のリボンで銅メダルに輝きました。これは実に40年ぶりだそうです。その感想を求めると、「率直にうれしかったです」。

高校時代は世界中を飛び回る３年間で、学校に登校できる日は貴重なものでした。昭和学院に来ると、部活でも、クラスでも温かく仲間が迎えてくれました。昭和学院で印象に残る思い出は、国民体育大会３位と高３での文化祭だといいます。「国体では、みんなで力を合わせ昭和学院・チーム千葉として精一杯踊ることができ、その結果全国３位になれたことが大変嬉しかったです。文化祭では、初めて高校３年生（５名）全員で演技発表することができたこと、そしていつも応援して下さっている学校の方々に見ていただくことができて、大変嬉しかったです。また、私ごとですが、あまり学校に行けない私のために、友人たちが誕生日の時ロッカーにサプライズプレゼントを用意してくれました。それを見つけたときは本当に驚きましたし、とても嬉しかったです。そんな良い友人に恵まれたことと、昭和学院で出会えたことに感謝しています。」

横田さんは東京両国の下町育ち。お祭りや子供会の活動が盛んな地域で、小学生のころはスポーツ大会によく参加する活発な女の子でした。彼女に今後の目標を聞きました。「これからはリオデジャネイロオリンピックに向けてメンバー争いも激しくなってきます。毎日の練習を大切にして、まずは絶対に５人のメンバーに入ること。そして、必ずオリンピックで今回以上のメダルを取ることです。」

さらに世界に大きく羽ばたいていく彼女が目に見えるようだ。

▲ 総合5位でオリンピック出場権獲得（前列右・横田）

卒業生レポート

平成21年卒業・八田佳奈さん

平成15年。昭和学院が共学として新たなスタートを切った年に新１年生として中学校に入学した八田佳奈さん。平成21年３月に昭和学院高校を卒業し、早稲田大学に進学。大学卒業後、持ち前の明るさとコミュニケーション能力の高さを生かし、旅行会社大手のＪＴＢ首都圏に就職し、現在「トラベルゲート有楽町店海外旅行グループ」に勤務しています。

中学・高校時代を昭和学院で過ごし、それが現在どのように生かされているのでしょう。インタビューをしました。

――仕事の内容を教えてください。

「店舗のカウンターで、海外へのパッケージツアーや個人旅行などの商品の販売をしています。」

――仕事をしていて楽しいことは何ですか。

「この仕事に就いて３年目ですが、お客様から担当のご指名をいただくことがあります。それは、私の企画やプラン、提案が認められたということで、非常に嬉しくなります。また、旅行に行かれたお客様が楽しかった旅行の話をしに来てくださったときは、お客様のニーズに応えられたことを実感し、仕事の励みになります。」

――大変なことは何ですか。

「ＪＴＢという大きな会社の名を背負っているというプレッシャーと責任を毎日感じています。また、海外旅行に関する知識を身に付けるために勉強をしています。海外旅行研修もあります。自分のプライベートの旅行も含めてこれまでフランス、ドイツ、韓国、ハワイ、パリ、シンガポールなどに行きましたが、職業意識は常に持っていました。」

――仕事をする上で大切なことは何ですか。

「コミュニケーション能力。相手の立場に立って物事を考える力。責任感。この３つです。」

――昭和学院で過ごしたことは、現在の仕事にどのように影響していますか。

「私は６年間ハンドボール部に所属し、部長も務めました。競技技術はもちろん、上下関係の在り方、仲間と一緒に頑張ることの大切さ、努力を怠らないことで向上できることを学びました。また、授業やホームルームで先生方の温かい励まし、厳しい言葉をいただいたこと、『明敏謙譲』の校訓、これらは、責任感を持って人との繋がりを大切にしながら仕事をすることに生かされています。共学元年は男子が非常に少なかったのですが、男女問わずに力仕事や細かい作業など協力し、皆で学校行事を楽しんだことは良い経験でした。」

――後輩にメッセージをお願いします。

「昭和学院の先生方は皆優しく、温かい方ばかりです。厳しい部分は、優しさがあるからこそのことです。在学中私は優しさに甘えてばかりでした。校則というルールがあっても、その中でやりたいことを存分にやらせてもらうことができました。どこの社会にも規則やルールがあります。その中で自分を生かし、後悔することがないよう、何事にもできる限り努力して欲しいと思います。」

▲ 中・高時代と変わらぬ笑顔で話を聞かせてくれました

SHOWA GAKUIN

生徒会　耐寒スポーツ大会

▲ 元気よく跳ぶ生徒たち

一年で最も寒いこの時期、毎年恒例となっている中学高校耐寒スポーツ大会が、生徒会・生徒指導部・体育科合同主催のもと、高校1年生が2月9日（火）そして中学生が2月12日(金）に本校メインアリーナで開催された。「寒さに負けず体を動かすとともに、クラスや学年の親睦を深める。」をこの大会のスローガンとして、中学生・高校生ともに競技種目である「長縄跳び」では、どのクラスも熱のこもった声援を送っていた。競技結果は次の通りである。

【中学校】	
優　勝	2年1組
準優勝	1年2組
第3位	3年3組

【高校1年】	
優　勝	1年K組
準優勝	1年A組
第3位	1年D組

市川善行賞に高校生3名決まる

今年度の市川市善行賞が決まりました。高校3年生の富田萌さん（3F）と高校2年生の秋吉智佳さん（2J）と藤澤光雲さん（2J）の3名が11月28日（土）に教育会館で市川市長を迎え表彰されました。

この賞は、昭和26年戦後の混沌とした時代に善に満ちた社会を作ろうと会が生まれ、今も善行を見つけ、これを世に紹介し讃えるとともにますます善行の輪が広がることを願っての賞です。

富田さんは、中学2年生からボランティア活動に意欲的に取り組み八幡学園の訪問や重度障害者グループのお手伝いをし、ドルチアのチャリティーにも参加。3年では副部長として桜和祭で活躍し、ボランティアの啓蒙に務め、あしなが募金でも街頭に立ち一般の人に呼びかける等活動をしてきました。

▲ 1日女性警官の富田さん

また秋吉さんと藤澤さんは、2年生ですが富田さんと同じように様々な活動に意欲的に取り組みボランティア活動の啓蒙に率先して頑張っている生徒です。

また11月4日に3名は部員と一緒に未成年者飲酒防止キャンペーンに参加。富田さんは市川市の一日女性警官として街頭に出て一般の人たちに呼びかけるなどして感謝状を頂きました。

▲ 藤澤さん・富田さん・秋吉さん

平成27年度　奨学会役員新年懇親会

▲ 八田会長の挨拶

奨学会役員新年懇親会が、平成28年1月30日(土)午後3時からヒルトン東京ベイホテルで開催された。今年は昨年とは違い、例年通り3学期の保護者会実施後に行われた。

出席者は山本理事長を始め、井上中高校長並びに辻田副校長、中高両教頭、各部の先生方、そして奨学会からは八田会長始め、参事や役員の方々で都合57名の参加者で会は始まった。

まず初めに八田奨学会会長から、日ごろの奨学会会員の皆様のご協力に感謝し、今後も昭和学院を盛り上げましょうという内容のご挨拶があった。続いて山本理事長のご挨拶のあと、井上校長からは来年度中高入試の途中報告があり、生徒減が続く中、本校の教育方針に賛同していただき、昨年度とほぼ変わらない志願者が出ていること、そして奨学会・参事会は学校の支えであり、今後も末永くご協力を頂き昭和学院が発展するよう祈念している旨のお話があった。その後、来賓挨拶として長谷見智様よりお話があり、竹内清海様の乾杯の音頭で歓談に入った。どのテーブルも豪華な食事を前に和やかな雰囲気の中、お互いの親交を深めるように笑い声が絶えなかった。そして新年懇親会の恒例となったビンゴ大会では、豪華景品が用意されていることもあり、参加者全員自分のナンバーカードを食い入るように見つめ、あちらこちらで「リーチ」「ビンゴ」の声が会場にこだました。まだまだ楽しい時間は続きそうだが、最後に松丸勝美様の中締めでお開きとなった。

▲ 盛り上がるビンゴ大会

▲ 理事長・校長・奨学会役員一同

高校バスケットボール部　ウィンターカップ　第3位

12月23日～28日に東京体育館にて第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会が行われた。多くの方々が応援に駆けつけた。

▲ 準決勝　対桜花学園

特に、恒例となりつつある野球部による声援は、会場を昭和一色に染めた。準々決勝では福岡大附属若葉に65対40で勝利し、準決勝は宿敵桜花学園との戦いとなった。試合の結果は、最終ピリオドで猛反撃を見せたものの僅かに及ばず、58対64と惜敗した。3位決定戦の聖カタリナ女子戦では序盤から昭和がリードし、チーム全員の力で95対57と快勝した。また、この大会を通して、優秀選手として赤穂ひまわり選手（2E）が表彰された。選手、並びに監督・関係者の皆さんに心から拍手を送りたい。部長の山本由真選手（3F）に話を聞いた。

▲ 3位決定戦　対聖カタリナ女子

「インターハイでは3年生が引っ張っていけなかったという反省がありました。その反省を活かして臨んだ大会でした。一番印象に残ったのは桜花学園との準決勝です。前半は十分動けませんでしたが、後半は気持ちが吹っ切れて、自分たちのプレイができ、2点差まで追いつくことができました。」また、後輩達に向けて次のように語った。「私たちはこの一年間、日本一を目指してやってきました。日本一になれなかったということは相手が上だったということです。さらなる高みに登るには今以上に自分たちに厳しくしなければなりません。来年度は日本一になって終わってほしいです。」

【Voice】　高校バスケットボール部　監督　鈴木親光

本年度のウインターカップは東京体育館で開催され、校長先生をはじめたくさんの先生方、保護者や生徒の皆さんのご声援をいただき、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

12月24日から試合が始まり、2回戦熊本国府（78対60）、3回戦札幌山の手（100対78）に勝利してベスト8を決めました。準々決勝では福大若葉と対戦し、前半は重たい試合運びで苦戦を強いられましたが、後半は昭和らしいバスケットボールが展開でき、勝つことができました。

準決勝は桜花学園高校との対戦でした。序盤から桜花学園に主導権を握られ、苦しい試合運びになりました。が、3クォーターの途中から選手達が思い切りの良いプレイをし、2点差まで迫りました。残念ながら敗れてしまい、全国制覇の夢は達成できませんでした。翌日は聖カタリナ高校との3位決定戦でした。選手達は昨日の悔しさを晴らすようにコートの中で精一杯のプレイを見せてくれました。本年度最後の試合でベンチメンバーが全員出場して、3位になることができました。

今年の悔しさを忘れることなく、下級生達と一緒に全国制覇の目標を達成できるように前進していきたいと思います。

春の全国選抜大会・都道府県対抗全国大会など

中学・高校バトン部

「第43回バトントワーリング全国大会」(12月12日・千葉市幕張メッセイベントホール)に5年連続で中高ともに出場し、銀賞を獲得した。

【Voice】

バトン部　監督　廣瀬真弓

中学は、あと一歩で金賞と今までにない好成績でした。初心者が多いなかで努力した結果が表れました。高校生は、最後まで諦めず練習に取り組んできました。大会当日の演技は気持ちが伝わってくるものとなりました。

▲ 高校バトン部全国大会での演技

中学ソフトテニス部

「第27回都道府県対抗全日本中学生大会」(3月26～28日・三重県伊勢市営庭球場）に出場する。「男子4名・女子5名が千葉県代表として出場します。自分たちの力を発揮して、上位入賞を目指したいと思います」と高原良江監督は抱負を語った。原大湖選手(2の1)、西山七海斗選手（2の3）の動きに注目したい。

中学バスケットボール部女子

「東日本大震災復興支援・第29回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2016」(3月28日～30日・東京体育館、市川市塩浜体育館他）に、ダリング杏那選手（2の1）、松尾響選手（2の1）、渡辺ひとみ選手（2の2）が出場する。

高校新体操部

「第31回全国高等学校新体操選抜大会」(3月19日～21日・長野市ホワイトリンク）に出場する。塩屋恵美子監督は「多くの実績を残した3年生がぬけた中で伝統を守り抜き、個人・団体ともに「全国優勝」を目指します。演技から物語や色が伝わる演技をやりきりたい」と闘志を見せた。

高校体操競技部

「第32回全国高等学校体操競技選抜大会」(3月21日・金沢市総合体育館）に出場する。佐布恵美子監督は「美しい演技で高得点を目指します」と力強く語った。

高校ハンドボール部男子・女子

「ジャパネット杯第39回全国高等学校ハンドボール選抜大会」（3月24日～29日・グリーンアリーナ神戸、神戸市立中央体育館他）に、今年も男女共に出場する。女子の里見香代子監督は「1年生が多いチームですが、上級生も力を見せてほしいと思っています。団結力で上位を目指します」と意気込みを語った。山根萌選手（2B）の動きに注目したい。男子の池畑大監督は「ベスト8以上を目指して一戦一戦悔いの残らないように試合に臨みます」と意気込みを語った。

高校ソフトテニス部男子・女子

「第41回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会」(3月28日～30日・愛知県名古屋市日本ガイシホール）に出場する。太田博勝監督は「初のアベック出場です。チームの総合力で戦ってきます。男女ベスト8の壁を打破し、ベスト4以上に入れるよう頑張ってきたいと思います」と抱負を語った。

高 3 進 路

主な合格大学一覧 （2月19日現在）

四年制大学

＜国公立大学＞

千葉保健医療大	1

＜私立大学＞

早稲田大	3
東京理科大	1
津田塾大	1
学習院大	4
明治大	2
青山学院大	4
立教大	3
中央大	4
法政大	20
立命館大	1
成蹊大	3
成城大	1
明治学院大	2
東京女子大	1
日本大	24
東洋大	24
駒澤大	10
専修大	3
大東文化大	3
東海大	4
亜細亜大	6
帝京大	10
國學院大	4
国士舘大	17
跡見学園女子大	3
江戸川大	1
大妻女子大	3
学習院女子大	1
神田外語大	4
関東学院大	1
共立女子大	4
敬愛大	6
国際医療福祉大	5
国際武道大	1
産業能率大	2
実践女子大	4
淑徳大	6
順天堂大	1
城西大	2
杏林大	5
千葉工業大	5
武蔵大	10
東京農業大	7
獨協大	5
城西国際大	6
昭和女子大	6
白百合女子大	2
駿河台大	1
清泉女子大	1
聖徳大	11
清和大	1
洗足学園音大	1
玉川大	4
千葉経済大	2
千葉商科大	7
中央学院大	3
帝京科学大	8
帝京平成大	13
桐蔭横浜大	2
東京家政学院大	2
東京経済大	4
東京工科大	3
東京工芸大	1
東京女子体育大	1
東京福祉大	4
東邦大	7
東洋英和女学大	1
東洋学園大	7
尚美学園大	2
二松学舎大	2
日本女子体育大	7
日本体育大	2
ノートルダム大	1
文化学園大	1
武蔵野音大	1
武蔵野大	3
明海大	3
明星大	3
目白大	9
山梨学院大	1
横浜薬科大	1
流通経済大	6
和洋女子大	4
多摩大	2
東京家政大	7
千葉科学大	1
日本薬科大	1
日本獣医生命科学	3
文京学院大	6
神奈川大	2

短期大学

昭和学院短大	6
青山学院女子短大	2
戸板女子短大	1
新渡戸文化短	1
東京農業大短大部	1

専門学校

日本医大看護専門学校	1
聖和看護専門学校	1

就　職

千葉県警察　1　自衛官　1
株式会社JSS　1　株ネクステージ　1
株ならしの健康倶楽部カーブス　1

合格者の横顔

合格者に①～⑤の質問をしました。 ①クラス・文理の別・氏名 ②現在までの合格大学 ③努力したこと ④平均学習時間（平日・休日） ⑤後輩へのアドバイス

①３Ａ理系　川添佳奈美　②東京理科大学、東京農業大学、成蹊大学、津田塾大学、③センターまでは科目が多かったので効率良く、苦手なものは重視して勉強するようにしました。センターが終ってからはひたすら過去問を解いてやり直して、出来なかった分野の復習のくりかえしでした。
④平日5～6時間・休日14時間　⑤やればやるほど自分の出来ない所が分かってきて辛くなると思いますが、そこであきらめずに周りの人達に相談しながら頑張ってください。

①３Ｂ文系　佐野将海　②中央大学・文学部、③問題演習を多くした。　④平日２時間・休日６時間　⑤過去問を解く時間を決めて、なるべく多く解く。

①３Ｃ文系　丸山大貴　②学習院大学・文学部、法政大学・社会学部、東洋大学・社会学部、駒澤大学・文学部
③毎日の授業の予習と復習を丁寧に行い、授業の理解を深めること。計画性をもって勉強すること。
④平日４～６時間・休日9～11時間
⑤日々の授業や小テストを通して次第に学力が向上しました。特に英語は積み重ねることが大切な教科なので早い時期から意欲的に取り組みましょう。
先生方からのたくさんのアドバイスが塾や予備校に通っていない自分にとっては本当に心強く学力向上の手助けとなり、受験勉強や入試本番でも役に立ちました。

新 生 徒 会

平成28年度の生徒会役員は昨年の生徒会選挙で選ばれた人たちが、校長先生から任命の下、昭和学院の繁栄を望み、新たな一歩を踏み出しました。

会　長	齋藤琢摩（2B）
副会長	尾身菜月（2H）
	神谷拓帆（1L）
書　記	赤津紗来（2H）
	關　健太朗（1E）
会　計	高木　諒（2K）
	齊藤佐也佳（1F）
会計監査	小林優花（2G）
	小松里奈（1F）

1月15日任命式があり、新生徒会が活動を開始しました。今年度の抱負を、生徒会長に聞きました。「今年の生徒会では、これまでの先輩方が積み重ねてきた努力を糧に、今まで以上の素晴らしい学校生活を営めるよう役員一同精進していきたいと思います。生徒会は皆さんの代表であると共に、皆さんの味方であるということを忘れないでください。生徒会は皆さんの意見を尊重し、より良い学校にするため精一杯取り組んでいきます。皆さんと私たち生徒会との交友が深まれば深まるほど明るい学校生活が保証されます。ですから、生徒会全員が協力して後輩によいものを残せるようにしていきましょう。」